

展示場再開にあたって

先の「平成30年台風21号」及び「平成30年9月北海道胆振東部地震」により亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。一刻も早い復旧をお祈りいたします。私も、みんなくでは、去る平成30年6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震により、展示場の設備の損傷をはじめ、研究室、図書室における蔵書の落下などの被害が発生し、臨時休館せざるを得なくなりました。多くの方々のご協力により、その後、復旧作業は順調に進み、8月23日(木)に本館展示場の一部公開を再開し、9月13日(木)、特別展「工芸継承—東北発、日本インダストリアルデザイン—」の開幕にあわせて、本館展示を全面的に再開することができました。この間の、皆様のご支援や温かい励ましのお言葉に対し、心より御礼を申し上げます。今後とも、みんなくの活動にご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

国立民族学博物館長 吉田憲司

特別展
「工芸継承—東北発、日本インダストリアルデザインの原点と現在」

日本における工芸の近代化、産業化の推進と東北地方の工芸業界の発展に寄与した商工省工芸指導所は、まさに日本におけるインダストリアルデザインの原点の一つです。本展では、商工省工芸指導所の活動を振り返りつつ、日本の工芸品が、どのように世界に挑戦するのかにについて考えます。

会期 11月27日(火)まで
会場 特別展示館

■関連イベント
研究公演

「東北の復興を願って」
—夢、希望、想いをこめて—
東日本大震災からの復興への願いをテーマに、三陸沿岸ゆかりのアーティストによるコンサートをおこないます。

日時 10月28日(日)13時～16時35分
会場 本館エントランスホール
出演 濱守栄子(シンガーソングライター) 絵美夏(ヴァイオリンシンガー) 中澤宗幸(弦楽器製作家・修復家)

※申込不要、参加無料

ワークショップ

「オリジナル木製スプーンをつくってみよう」
(京都造形芸術大学との共同プロジェクト)
工芸指導所が開発した成形合板の基礎知識について簡単なレクチャーをおこなうとともに、成形合板でつくった木製スプーンの型をサンドペーパーで削り出し、参加者オリジナルの模様をいれた木製スプーンを製作します。

日時 10月13日(土)、10月21日(日)、
11月3日(土・祝)、11月18日(日)
各日11時～15時30分(15時受付終了)
会場 特別展示館2階(各日定員80名)

対象 子どもから大人まで(未就学児は保護者同伴で参加)
※当日受付、要特別展示観覧券
※各日も13時より日高真吾(本館准教授)によるギャラリートークをおこないます。

企画展
「アーミッシュキルトを訪ねて—そこに暮らし、そして世界に生きる人びと」

無地の服を着て馬車を駆る北米のキリスト教再洗礼派アーミッシュが布の端切れを生かしてつくるキルトは、その鮮やかな色合いや細やかなステッチで人びとを惹きつけています。2011年より収集してきたみんなくコレクションを素材として、キルトに織りこまれた日々の暮らしや物語、キルトが結ぶ世界との交流をたどります。

会期 12月25日(火)まで
会場 本館企画展示場

■関連イベント
ギャラリートーク

日時 10月4日(木)、12月20日(木) 各日14時
講師 鈴木七美(本館教授)
会場 本館企画展示場
※申込不要、要展示観覧券

みんなく映画会・第43回ワールドシネマ

「彷徨える河」
先住民の視点で描いた、秘境をとおして彼らの知恵や自然と人間との関係について考えます。

日時 11月4日(日)
13時30分～16時30分(13時開場)
会場 ホテル阪急エキスパーク 多目的ホール(オービットホール) (定員400名)

※申込不要、参加無料
※参加券を当日11時から多目的ホール(オービットホール)前受付にて配布

みんなく映画会
「映画が拓く新たなバリアフリーの世界」
「盲ろう者(視覚と聴覚両方に障害を持つ人達)」とその家族・支援者の日常生活を丁寧に描いたドキュメンタリー映画「もうろうをいさる」を「完全バリアフリー版」で上映・鑑賞することによって、映像文化共有のあり方について考えます。

日時 11月24日(土)
13時30分～16時30分(13時開場)
会場 ホテル阪急エキスパーク 多目的ホール(オービットホール) (定員400名)

※申込不要、参加無料
※映画上映は、「視覚障害者対応音声ガイド」および「聴覚障害者対応日本語字幕」つき

※参加券を当日11時から多目的ホール(オービットホール)前受付にて配布

公開講演会

「音楽から考える共生社会」
排他的な考えが台頭する今日、共生は最重要課題の一つです。この講演会では、音楽が共生を実現するために果たしうる役割と可能性を探ります。

日時 11月2日(金)18時30分～20時40分 (開場17時30分)
会場 日経ホール(東京、定員600名)
講演 寺田吉孝(本館教授)
中村美亜(九州大学大学院 芸術工学研究院 准教授)
司会 河合洋尚(本館准教授)
主催 国立民族学博物館、日本経済新聞社
※要事前申込、参加無料、手話通訳あり
お問い合わせ先 研究協力課研究協力係 06・6878・8209

みんなくセミナー

日時 10月20日(土)13時30分～15時(13時開場)
会場 本館セミナー室ほか
参加費 無料(展示を閲覧になる方は、展示観覧券が必要ですが)※参加券を当日12時30分から本館1階案内所にて配布
※メイン会場が満席の場合は中継会場をご案内いたします。
第484回

工芸を語る—宮城の職人からのメッセージ

講師 日高真吾(本館准教授)
永山雅大(東北工業大学)
宮城の工芸職人 石橋裕次郎、加藤恵、菅野裕喜 関西の工芸職人 北村繁、藤原千沙、宮永絵里
特別展「工芸継承」では、日本のインダストリアルデザインの原点でもある工芸品を展示しています。ここでは、東北で工芸の制作に励む職人たちと現在の工芸、これからの工芸について考えます。



組み合わせ小箱 (東北歴史博物館蔵)

みんなくウィークエンド・サロン
研究者と語る

本館の研究者が「現在取り組んでいる研究」調査している地域(画)の最新情報「みんなくの展示資料」について分かりやすくお話しします。

10月7日(日)14時30分～15時15分 本館第7セミナー室
バリアフリー映画を楽しむ
話者 飯泉菜穂子(本館 特任教授)
※申込不要、参加無料
※手話通訳あり

10月14日(日)14時30分～15時 特別展示館
漆芸の業を受け継ぐ—北村家4代作品から話者 日高真吾(本館 准教授)
北村繁(漆芸家)

※申込不要、参加無料(要特別展示観覧券)

10月21日(日)14時30分～15時 本館ナビひろば
ペトナム黒タイの屠
話者 樺永真佐夫(本館 教授)
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)
お問い合わせ先 研究協力課国際協力係 06・7220・3094

公開フォーラム

「世界の博物館2018」
日時 11月3日(土・祝)13時～17時
会場 本館第5セミナー室(定員70名)
※要事前申込、参加無料、先着順
お問い合わせ先 研究協力課国際協力係 06・7220・3094

●11月1日から7日は「教育・文化週間」です

教育・文化週間は教育や文化への関心と理解を深め、充実・振興を図ることを目的として設けられ、今年で60回目を迎えます。この機会に、全国で開催される様々な行事に足を運んでみてはいかがでしょうか。
教育・文化週間ウェブサイト(文部科学省ホームページ) http://www.next.go.jp/a_menu/shougai/kyoku-bunka/

●みんなく無料シャトルバスのご案内

大阪モノレール「万博記念公園駅」とみんなくの間直通無料送迎バスを特別展「工芸継承—東北発、日本インダストリアルデザインの原点と現在」の会期中に運行します。
運行日 11月27日(火)までの土曜・日曜・祝日
1日11往復、所要時間10分、無料
運休日 平日、11月3日(土・祝)、4日(日)、10日(土)、11日(日)
※万博記念公園でイベントが開催される場合は臨時に運休することがあります。詳細は本館ホームページをご覧ください。
※各イベントについてくわしくはみんなくホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせ受付時間は、9時～17時(土日祝を除く)です。

友の会

友の会講演会(大阪)

※会員無料(会員証提示)、一般500円
第482回 11月3日(土・祝)13時30分～14時40分
特別展「工芸継承」
東北発、日本インダストリアルデザインの原点と現在(関連) 震災を経ても土地に生きる
—南三陸町波伝谷12年間の映像記録を通して—
講師 我妻和樹(映画監督)
会場 本館第7セミナー室(定員50名・当日先着順)
東日本大震災の津波で被災した宮城県南三陸町の漁村「波伝谷(はでんや)」に2005年から関わり続け、震災前後の12年間に波伝谷に生きる人びと「願いと揺らぎ」の2つのドキュメンタリー映画を製作し世に送り出した我妻和樹監督。長年に亘りひとつの地域を患直に掘り続けてきた我妻監督のお話を通して、人が大きな災害を経験してもなおその土地で生きようとする姿、そして地域とともに生きようとする姿がどういふことなのかについて一緒に考えてみませんか。
※講演会終了後、講師の案内のもと、特別展の見学会をおこないます(40分)。要会員証もしくは特別展示観覧券。

第483回 12月1日(土)13時30分～14時40分
特別展「アーミッシュキルトを訪ねて」
—そこに暮らし、そして世界に生きる人びと(関連)「アーミッシュの信仰と文化—歴史から現代へ—」
講師 踊共(武蔵大学 教授)
会場 本館第5セミナー室(定員96名・当日先着順)
※講演会終了後、企画展の見学会をおこないます(40分)。要会員証もしくは展示観覧券。
【解説】鈴木七美(本館 教授)

東京講演会

第124回 12月8日(土)13時30分～14時40分
野次から応援へ—応援の比較文化論の試みから—
講師 丹羽典生(本館 准教授)
会場 モンペル御徒町店4Fサロン
※講演会終了後、講師を囲んで懇談会をおこないます(40分)。
※要事前申込(定員60名)、会員無料、一般500円

